

令和6年度 南大沢スマートシティ協議会（第3回）

議事要旨

- 日時：令和7年3月6日（木）10時00分～12時00分
- 開催場所：パオレビル7階 / オンライン会議（Zoom）
- 出席者（オンライン含む）：座長1名、委員・関係者26名、アドバイザー2名、事務局

□主な議事（●説明、○説明に対する意見・回答）

<第二回協議会の振り返り>

- 事務局より、今年度第二回協議会の振り返りに関する説明があった。

<第一回共創ラボ（モビリティ体験会）の実施報告>

- 事務局より、第一回共創ラボの実施報告があった。

【体験会の運営について】

- 委員より、車体にヘルメットを収納できるようにする、ヘルメット付きで貸し出す、など、安全面につながる設計・サービス上の配慮も検討すべきであるという意見があった。

【インタビュー結果について】

- 委員より、プライバシーの問題には配慮したうえで、居住地域を考慮してインタビュー結果を分析すると、移動に関して住民が抱える困難やニーズの解像度が上がるのではないかと意見があった。
- 委員より、必ずしもインタビュー回答者が年齢・性別といった属性を代表しているとは限らないため、インタビュー分析結果の解釈は慎重に行い、導入候補のモビリティやその展開方法などについて、さまざまな地域住民の視点に立って検討することが重要であるという意見があった。

<第二回共創ラボの実施報告>

- 事務局より、第二回共創ラボの実施報告があった。
- 委員より、店舗の営業時間や販売情報といった静的なコンテンツを補完するように、生活者の立場で役に立つリアルタイムの情報やニッチな動的コンテンツを盛り込むことが重要であるという意見があった。
- 委員より、不適切な投稿が表示されない仕組みづくりや、年代層のニーズに配慮した利用しやすいユーザーインターフェース設計が求められているという意見があった。

<認知度アンケート調査の実施報告>

- 事務局より、認知度アンケート調査の実施報告があった。
- (地域情報アプリに関して) 委員より、住民のウェルネスなどと結びつけ、自然環境豊かな南大沢を舞台に歩く、体験するとポイントが付与されるなどの機能も考えられるという意見があった。

<地域情報アプリの検討状況>

- 東京都都市整備局より、地域情報アプリの検討状況に関する説明があった。
- 委員より、早い段階でプロトタイプを構築し、アプリのテストを実施していく必要があるという意見があった。
- 委員より、システム構築やユーザーインターフェース設計、コンテンツ制作に参画しやすい仕組みづくりやシステム構築段階から有用人材の巻き込みが必要であるという意見があった。

<東京都からの報告事項>

- 東京都都市整備局より、ピッチコンテスト (UPGRADE with TOKYO 第45回) の結果報告および多摩のまちづくり戦略案に関する説明があった。
- 委員より、既存交通と新モビリティとが相互に高め合い補完する導入イメージを早期に検討する必要があるという意見があった。
- 委員より、新モビリティ事業者と協議会が将来のビジョンについて意見交換を行うとともに、協力関係を構築できる機会提供が必要であるという意見があった。

以 上